プログラム

[第１日目]　9月7日(土)

第１会場

開会挨拶　9:00～9:10

基調講演　9:10～10:10

座長：谷池 雅子(大阪大学大学院連合小児発達学研究科)

大人というライフステージをどう支えるか
岡田 俊
奈良県立医科大学精神医学講座

成人発達障害支援学会　理事会企画シンポジウム　10:20～12:20

成人発達障害と親なき後

座長：太田 晴久(昭和大学発達障害医療研究所)
水野 健(昭和大学発達障害医療研究所)

1　自閉スペクトラム症(ASD)当事者と家族が共に学ぶ自立促進プログラムの開発と包括的支援システムの構築
五十嵐 美紀
昭和大学発達障害医療研究所

2　生活力アセスメントツールの臨床活用の検討　－自立促進プログラム参加者への面接調査を通じて－
小峰 洋子
横浜ハビリテーションクリニック

3　自立促進プログラム紹介
横井 英樹
昭和大学発達障害医療研究所

ランチョンセミナー１　12:30～13:30

座長：安田 由華(生きる育む輝くメンタルクリニック)

ガイドラインに準じた成人期ADHD薬物療法ストラテジー
～グアンファシンをベースドラッグとして～
楠木 将人
仁愛診療所

協賛：武田薬品工業株式会社

シンポジウム1　14:00～16:00

自閉スペクトラム症の支援のための病態理解

座長：尾崎 紀夫（名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学）
橋本 亮太（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所　精神疾患病態研究部）

1　成人期発達障害の診断と治療
太田 晴久
昭和大学発達障害医療研究所

2　自閉スペクトラム症中核特徴に対する治療薬の開発と現在の課題について：客観定量的行動評価と脳分子メカニズム理解
山末 英典
浜松医科大学精神医学講座

3　神経発達症を含む精神疾患のゲノム医療の現状
尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

4　iPS細胞技術およびモデルマウスを用いた自閉スペクトラム症の分子病態研究
中澤 敬信
東京農業大学生命科学部

アフタヌーンセミナー　16:10～17:10

眠れない神経発達症の子どもが受診されたときの具体的な対応

座長：安田 由華（生きる育む輝くメンタルクリニック）

1　不登校、リストカット、睡眠障害、トランジション
思春期精神医療はどう行うか？
原田 剛志
パークサイドこころの発達クリニック

2　小児科と精神科の地域連携を含めた眠れない神経発達症の子ども達への臨床的対応
辻井 農亜
富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座

協賛：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス

一般演題Ⅰ（口演） 17:20～18:20

座長：金 樹英（国立障害者リハビリテーションセンター（研究所），病院 第三診療部(研究所併任)）
太田 晴久（昭和大学発達障害医療研究所）

O1-1 大学生自閉スペクトラム症プログラムの実践報告
―自己理解と進路選択をどう支えるか―
嶋村 春花、片岡 茉好、和田 麻奈美
医療法人博友会まるいクリニック

O1-2 成人ADHDの特性と不安，自己効力感ストレス対処の関連
鎌田 哲司、平川 淳一、渡部 洋美、山崎 恵莉菜、丹原 佳折、井出 学
医療法人社団 光生会 平川病院

O1-3 発達障害専門プログラムのクリニックにおける出席率改善の取り組みについて
片山 直毅[1)]、加藤 史織[1)]、藤原 菜穂[1)]、山口 望美[1)]、内藤 志帆[1)]、安田 明子[1)]、
木村 美紀[1)]、廣田 兵庫[1)]、矢野 貴詩[1)]、安田 由華[1)2]
1）生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町
2）国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

O1-4 自閉スペクトラム症と統合失調症における労働に関連する要因の検討
伊藤 颯姫[1)]、住吉 チカ[1)2)3)]、安田 由華[1)4)]、松本 純弥[1)]、藤本 美智子[1)5)]、
山森 英長[1)5)6)]、長谷川 尚美[1)]、西谷 正太[1)]、髙野 晴成[1)7)]、住吉 太幹[3)8)]、橋本 亮太[1)]
1）国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　精神疾患病態研究部
2）福島大学 人間発達文化学類
3）国立精神・神経医療研究センター　精神保健研究所　児童・予防精神医学研究部
4）医療法人フォスター　生きる育む輝くメンタルクリニック
5）大阪大学大学院医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室
6）独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 神経精神科
7）国立精神・神経医療研究センター　脳病態統合イメージングセンター
8）国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

O1-5 色が読字におよぼす影響
名倉 蒼夏羽、髙橋 泰子
大阪河﨑リハビリテーション大学

ポスター会場

ポスターセッション 16:10～18:10

[第一部 P1-1～P1-14]

座長：丸田 伯子（一橋大学保健センター）

P1-1　成人期ASD者の家事の実行を難しくする要因について
—当事者の語りからの分析—
水野 健[1)2)]、川畑 啓[2)]、五十嵐 美紀[1)2)]、横井 英樹[1)2)]、今井 美穂[2)]、太田 晴久[1)2)]
1）昭和大学発達障害医療研究所、2）昭和大学附属烏山病院

P1-2　障がい当事者によるインタビュー調査の意義 Ⅱ
— 発達障がい当事者による質的研究のあり方に関する一考察 —
安井 秀仁
立命館大学大学院人間科学研究科博士後期課程

P1-3　ナラティブスロープを用いた人生の振り返り
～自閉スペクトラム症当事者・家族・支援者の視点から～
松元 雄太
医療法人博友会まるいクリニック

P1-4　自己管理が必要な疾患をもつ成人発達障害者への関わり方や支援の一事例
伊波 愛海、鎌井 花歩、松本 歩、山岡 康代、岡田 希、村田 ひろ子、榎 百恵、土肥 亜子、岩間 有花、
なないろ訪問看護ステーション

P1-5　笑顔で過ごせる日常を目指して　～生活モデルが大事にしている視点 ～
魚谷 浩一郎、浅野 治美
社会福祉法人みつわ会寝屋川市地域生活支援センターあおぞら相談支援事業所

P1-6　発達障害外来の診断名について
前医との比較-5年の経過をみて-
中村 善文[1)]、太田 晴久[1)2)]、中村 元昭[1)2)]、沖村 宰[1)2)]、橘 知之[1)2)]、山田 真里[1)2)]
中井 文香[1)]、西尾 崇[1)]、加藤 進昌[2)]、岩波 明[1]
1）昭和大学精神医学講座、2）昭和大学発達障害研究所

P1-7　成人発達障害検査入院における患者背景や診断、心理検査結果の検討
中井 文香[1)2)]、花田 智貴[1)2)]、大橋 尊[1)2)]、武藤 奈奈[2)]、ロンバート はるみ[2)]
今村 薫奈[2)]、内田 侑里香[2)]、佐藤 里穂[2)]、太田 晴久[1)2)3)]、真田 建史[1)2]
1）昭和大学医学部精神医学講座、2）昭和大学附属烏山病院、3）昭和大学発達障害医療研究所

P1-8　成人のADHDに対するオンライン認知行動療法のランダム化比較試験の1年後追跡予後調査の研究プロトコル

江藤 愛子[1)2)]、遠藤 歩[1)2)4)]、吉田 斎子[1)3)]、清水 栄司[1)2)3)]
1）千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、
2）千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、3）千葉大学医学部附属病院
4）駒澤大学文学部心理学科

P1-9　ADHD患者に対するアディクション問題の併存率調査

五十嵐 美紀[1)2)]、横井 英樹[1)2)]、水野 健[1)2)]、川畑 啓[1)]、佐藤 香織[1)]、今井 美穂[1)]
太田 晴久[1)2)]
1）昭和大学発達障害医療研究所、2）昭和大学附属烏山病院

P1-10 ASDとADHDの感覚処理障害について青年・成人感覚プロファイルを用いた検討

長塚 雄大[1)2)4)]、太田 晴久[1)2)3)]、五十嵐 美紀[3)]、今井 美穂[2)]、川畑 啓[2)]
小峰 洋子[3)]、彦坂 雄一[2)]、水野 健[3)]、横井 英樹[3)]、
1）昭和大学精神医学講座、2）昭和大学附属烏山病院、3）昭和大学発達障害医療研究所
4）正史会大和病院

P1-11 エゴグラムからみたASD傾向を示す成人の対人関係の特徴
-就労を目指す成人を対象にして-

伊藤 大翔、日下 菜々子、大野 史博、横山 太範
医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック発達障害ワークサポートプラザ

P1-12 成人のASDにおける過剰適応行動の背景と必要な心理支援

官野 百合[1)]、小林 加奈[1)2)]、曺 由寛[3)]、藤井 靖[4)5)]
1）明星大学大学院心理学研究科、2）国際医療福祉大学病院、3）明星大学大学院人文学研究科
4）明星大学心理学部、5）国立精神・神経医療研究センター

P1-13 成人の自閉スペクトラム症者における人物画の特徴
― 一般大学生との比較から ―

野村 菜月
愛知県精神医療センター

P1-14 成人期発達障害の不安､抑うつ状態の検討－検査入院の心理検査結果から

大橋 尊[1)2)]、中井 文香[1)2)]、花田 智貴[1)2)]、武藤 奈奈[2)]、ロンバート はるみ[2)]
今村 薫奈[2)]、内田 侑里香[2)]、佐藤 里穂[2)]、太田 晴久[1)2)3)]、真田 建史[1)2)]
1）昭和大学医学部精神医学講座、2）昭和大学附属烏山病院、3）昭和大学発達障害医療研究所

[第二部 P2-1～P2-13]

座長：定松 美幸（金城学院大学大学院 人間発達学研究科）

P2-1　クリニックにおける発達障害専門プログラム導入の経過

加藤 史織[1)]、藤原 菜穂[1)]、山口 望美[1)]、内藤 志帆[1)]、安田 明子[1)]、木村 美紀[1)]
廣田 兵庫[1)]、矢野 貴詩[1)]、片山 直毅[1)]、安田 由華[1)2)]
1）生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町
2）国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

P2-2　実行機能改善プログラムと当事者の取り組み継続への工夫

山口 望美[1)]、加藤 史織[1)]、丸山 直子[1)]、木村 美紀[1)]、藤原 菜穂[1)]、安達 尚美[1)]
的場 明子[1)]、廣田 兵庫[1)]、矢野 貴詩[1)]、片山 直毅[1)]、安田 由華[1)2)]
1）生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町
2）国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

P2-3　デイケアにおける発達障害をもつ夫婦の支援

竹内 巳代、村松 あい、中岡 健太郎
愛知県精神医療センター

P2-4　「女性ASDグループの開設」～『自分を大切にする』という感覚の出現～

米谷 しのぶ、和田 多佳子、長谷川 真央、浦田 菜穂、成田 秀平、木代　眞樹
きしろメンタルクリニック

P2-5　ASD傾向が高い女性の化粧行動に関する探索的研究

森 京花
北九州市立大学

P2-6　高等教育機関における適応支援：確定診断のない学生を対象とした介入の実践報告

小原 美樹[1)]、鈴木 祥大[2)]、丸田 伯子[1)]
1）一橋大学 保健センター、2）一橋大学 障害学生支援室

P2-7　大学と病院が連携した筑波大学ショートケアプログラムの取り組み

羽田 舞子[1)]、井出 征行[2)]、関根 彩[1)]、佐々木 銀河[3)]、相澤 直子[4)5)]
1）筑波大学附属病院、2）茨城県立医療大学保健医療学部医科学センター、3）筑波大学人間系
4）公益財団法人神経研究所、5）筑波大学学生相談室

P2-8　自己理解アセスメントを通じた合理的配慮の実践
―高等教育における読みの困難に対する代替手段の検討―

嶌田 裕子、村田 淳
京都大学 DRC（学生総合支援機構 障害学生支援部門/Disability Resource Center）

P2-9　発達障害の方に対するコミュニケーショントレーニングの実践例

芳賀 大輔、筒井 さやか、西田 都香沙、今村 未来、保川 敦也
NPO法人日本学び協会ワンモア

P2-10 就労移行支援施設におけるセルフケアチェックの効果分析に関する研究

鈴木 聖也、齋藤 俊輔
デコボコベース株式会社　ディーキャリアITエキスパート田町オフィス

P2-11 就労移行支援事業所エルバイエルでの普段の支援と取り組みについて

沼野 晃美
就労移行支援事業所エルバイエル

P2-12『医療型就労支援における成人発達障害の健康管理の実践報告』

大束 順子、小笠原 利子、大野 史博、伊藤 大翔、横山 太範
医療法人社団心劇会　さっぽろ駅前クリニック　発達障害ワークサポートプラザ

P2-13 発達障がい者の就労実例
大野 睦、鈴木 一史
ウェルビー梅田センター

[第三部 P3-1～P3-10]

座長：木代 眞樹（医療法人社団聖眞会 きしろメンタルクリニック）

P3-1 新しい時代の相談支援体制、”The strength of weak ties”ゆるいつながりの大切さについて
柳澤 洋行、芦田 邦子
ユニバーサル推進委員会

P3-2 発達障害の特性に配慮した片付けサポートについて
西原 三葉
発達障害特化型片付けコンサルティングAUBE

P3-3 発達障害のある人を対象とした自立訓練（生活訓練）事業所の取り組み
葛野 茜、東 良太郎、橋本 朱音
株式会社エンカレッジ encourage doors北浜

P3-4 自立訓練(生活訓練)修了事例からみるSIM評価：自立度向上要因の解析
川端 大輔
株式会社Kaien

P3-5 その人の特性を尊重し取巻く環境をデザインする
―インクルーシブな視点から「いろんな居場所」をつくる―
北澤 誠男[1)]、土居 拓馬[1)]、伊藤 つばめ[1)]、上川 海人[1)]、小堀 桜[1)]、柳澤 洋行[2)]
1）大阪電気通信大学、2）特定非営利活動法人　ウェルフェア中之島

P3-6 発達障害的特性の高い学生への就職支援プログラムの実践について
～ 10年間の活動を振り返って～
池田 浩之[1)2)]、小田 果林[2)]、貞野 剛志[2)]
1）兵庫教育大学大学院、2）NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク

P3-7 発達障害のある大学生への就労準備プログラム
～ライフスキル、ソフトスキルの支援アプローチと今後の展望～
高橋 亜希子、渡辺 明日香
株式会社エンカレッジ　エンカレッジ早稲田駅前

P3-8 発達障がい者支援センターでの成人期の発達障がいのある方の自己理解支援について
西ヶ峯 佐登子
大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

P3-9 ライフステージを通じた切れ目ない支援を目指して
～大阪府発達障がい者地域支援力向上事業の取り組みから～
佐藤 沙織
大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

P3-10 発達障害デイケア『るらーしゅ』のプログラムの変遷
大方 真誌、柳沼 さとり
公益財団法人　金森和心会　針生ヶ丘病院

[第四部 P4-1～P4-11]

座長：大村 豊（平安通クリニック）

P4-1　発達障害者への就労移行支援・自立訓練における就職ロールモデルの効果ー体験談プログラムの実践報告ー
赤岡 広章
株式会社Kaien

P4-2　就労支援事業所におけるVRを活用した対人コミュニケーションに掛かるトレーニングの位置づけ
芳賀 大輔[1)2)]、大西 弘二[3)]
1）就労移行支援ONEMORE、2）京都大学医学部人間健康科学科、3）大塚製薬株式会社

P4-3　日常生活に悩みのある方に寄り添い、必要スキル・知識学習、健康管理など、社会参加や健康的な支援とは？
山下 友里愛、安部 直也
インクルード株式会社

P4-4　就労支援機関における居場所づくりの経過と今後の展望について
井上 宜子[1)]、酒井 京子[2)]、間山 理香[2)]、山田 加奈子[2)]
1）サテライト・オフィス平野、2）大阪市職業リハビリテーションセンター

P4-5　バックアップセンター・きょうとにおける発達障害プログラムの紹介
藤井 朋広、市田 忍
京都駅前メンタルクリニック　バックアップセンター・きょうと

P4-6　成人発達障害者に対するオンライン言語リハビリテーション
多田 紀子[1)2)]
1）株式会社　くるみの森、2）NPO法人Reジョブ大阪

P4-7　発達障害自助グループ「NEFNEムーン」の歩み
櫛田 理彩[1)]、常岡 天祐[2)]、山本 彩菜[2)]、石橋 尋志[3)]
1）医療法人　三家クリニック、2）合同会社　Ledesone、3）さかいハッタツ友の会

P4-8　成人の発達障害のセルフヘルプグループの成り立ち、現状と課題
～「発達障害をもつ大人の会」の経緯から～
広野 ゆい
NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）

P4-9　成人の発達障害のセルフヘルプグループの現状と課題
～おおさかで活動するグループの紹介～

広野 ゆい[1)]、元村 祐子[2)]、な の[3)]、ふな のり[3)]、ゆ ず[4)]
1）大人の発達障害のセルフヘルプグループ　北摂ほっとサロン
2）UnBalance　成人発達障害自助グループ
3）ハッタツ凸凹を持つ大人の自助会　ノースムーン
4）「ゆずの会」大人の発達凸凹自助グループ

P4-10 成人の発達障害のセルフヘルプグループの現状と課題
～ひょうごで活動するグループの紹介～

広野 ゆい[1)]、しょ ーこ[2)]、ＳＨ ＯＷ[3)]、三島 啓[4)]
1）大人の発達障害のセルフヘルプグループ　関西ほっとサロン
2）コネクト　神戸の発達障害自助会
3）大人の発達障害を持つ当事者の会BlueSkyサロン
4）大人の発達凸凹自助グループ「ついんくるスマイル！」

P4-11 好きなことで働ける社会を創る　～カラーズの取り組み～

矢野 真紀子
美容・就労移行支援事業所カラーズ

プログラム

[第２日目]　９月８日(日)

第１会場

シンポジウム2　第一部　9:00～11:00

成人発達障害支援のニーズと課題～大阪地域の連携システム構築から理想の支援システムを考える

座長：橋本 亮太(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部)
横山 太範(さっぽろ駅前クリニック)

1　発達障害者支援の施策について(行政説明)
西尾 大輔
厚生労働省　社会・援護局　障害保健福祉部　障害福祉課　地域生活・発達障害者支援室　発達障害対策専門官

2　大阪府における発達障がい児者支援システムの整備
新澤 伸子
武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 心理学科

3　大阪市における発達障がい者支援センターのこれからの役割
井上 芳子
大阪市発達障がい者支援センター エルムおおさか

4　発達障害のある学生へのサポートー合理的配慮の視点からー
望月 直人
大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター　相談支援部門

5　自閉症ｅサービスの人材育成プログラムについて
中山 清司
オフィスぽん代表社員、自閉症ｅサービス代表理事

6　摂食障害の維持因子としての発達障害
宮脇 大
大阪市立総合医療センター　児童青年精神科

7　成人期発達障害支援における医療機関の役割再考
大久保 圭策
大久保クリニック

シンポジウム2　第二部　パネルディスカッション　11:10～12:20

成人発達障害支援のニーズと課題～大阪地域の連携システム構築から理想の支援システムを考える

座長：橋本 亮太（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部）
横山 太範（さっぽろ駅前クリニック）

ランチョンセミナー2　12:30～13:30

座長：安田 由華（生きる育む輝くメンタルクリニック）

自閉スペクトラム症に対するVRを活用した感情認知トレーニングの社会実装

蟹江 絢子

東京大学医学部附属病院　こころの発達診療部　医師／国立精神・神経医療研究センター　認知行動療法センター　客員研究員／株式会社ジョリーグッド　上級医療統括顧問

協賛：大塚製薬株式会社

一般演題Ⅱ（口演）　13:40～14:40

座長：柏 淳（ハートクリニック横浜）
渡邉 慶一郎（東京大学 相談支援研究開発センター）

O2-1 ADHDをもつ看護師が働くうえでの困難　―当事者の語りと看護実践のエピソードをもとに―

山之内 優子、中尾 賀要子、安東 由則

武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科

O2-2 難治性の幻覚妄想状態を呈した自閉スペクトラム症の一例

井出 政行[1)2)]、野崎 海央[3)]、五味 真帆子[3)]、新井 哲明[2)]

1）茨城県立医療大学医科学センター、2）筑波大学医学医療系、3）筑波大学附属病院

O2-3 中規模都市で発達障害支援システムを構築する取り組み

渡部 洋実

医療法人社団光生会　平川病院

O2-4 東京都における専門機関の支援の現状と課題

桑野 大輔

公益財団法人神経研究所　精神保健福祉士

O2-5 切れ目のない支援のための情報共有ツール（就職版）
―関係機関の情報を自己理解に活用する―

瀬崎 由佳、井上 芳子、佐藤 由香里

大阪市発達障がい者支援センター　エルムおおさか

O2-6 成人神経発達症専門クリニックにおける世帯に対する支援
永田 朝美、大村 豊
平安通クリニック

教育講演 14:50～15:50

座長：武田 雅俊（大阪河崎リハビリテーション大学）

大人の発達障害　～専門外来を開いて17年～
加藤 進昌
公益財団法人 神経研究所附属晴和病院

閉会式 15:50～16:00